

難病患者さんに 寄り添って 3病棟



で思うように体を動かすことも、意志を伝えることもままならなくなってくる。そんな中で、



当病棟は、神経難病の慢性期にあたり、ほぼ寝たきりの患者さんが大半を占めている。

神経難病の慢性期（寝たきり）の患者さんは、自分自身



患者さん中心の看護をするにはチームワークが大事で「仕事仲間」はとても重要になると思う。

仲間がいると、楽しい。そして、心強い。同じ目的を持って、一緒に困難に立ち向かう。うまく行かないときは共に悩み、苦しむ。共通の目的を持つ人たちが集まって、前に進もうとすると、かけがえのない「仲間」が出来る。仕事も同じだ。テーマはいつも目の前にある。チームもある。そこでは、皆が最初から目的を共有している。だから、真剣に仕事をする人たちは「仲間」になる。

「患者さん中心の看護」という目標を共有し、28名の「仲間」たちと、よりいっそう難病患者さんに寄り添っていきたいと思う。



日本難病看護学会認定「難病看護師」

3病棟看護主任 豊永 広恵

難病看護は医療、介護、福祉だけでなく難病法や保険制度など法的な知識も多く必要です。日々難病看護に携わってきましたが、この法的知識を習得する機会がありませんでした。難病認定看護師の制度を知り初心に戻って学んでみようと思い受験しました。

難病疾患は標準的な看護技術が適用しにくく達成感が得られない、患者家族の意思決定へのサポート、患者さんとのコミュニケーションの困難など看護の困難性があるといわれています。そこを少しでも克服できるように、そして法制度の知識を得るためにセミナーに参加し、自己研鑽しながら難病看護の質の向上につなげていきたいと考えています。今後の活動としては、院内や難病ネットワークでの難病看護の研修を行い、新しい情報を発信し、県内どこの地域でも難病看護ができるようなお手伝いができればと考えています。



3病棟看護師 藤田 明美

私は、南国病院に就職して11年目になります。職場の上司の言葉をきっかけに難病認定看護師の資格を取得しようと思い勉強してきました。私は、認定看護師を受験し一度は失敗しました。もう一度挑戦するかどうか複雑な気持ちでした。

そんな時、ALSの患者様に会い、私の背中を押してくれ勇気を与えてくれました。その患者様は積極的な延命は望まず最期を自宅で送りたいという希望がありました。呼吸苦がありながらも来客には笑顔で接していました。患者様と関わっていくうちに、消えそうな声で「あなたのおかげで病院というイメージがかわった。ありがとう。」と話しをしてくれました。患者様が病院にどういイメージを持たれていたかはわかりませんが、私にとって大きな自信に繋がりが合格することができました。まだ認定看護師といっても課題は多く何からはじめていいのか模索している最中です。難病患者さんを支える事のできるように活動していきたいと思っています。



**第21回
ほっとソフト
バレーボール大会**
精神保健ボランティアほっとはあと
高知県立障害者
スポーツセンター春野
H29.3.2(木)



参加施設
あき総合病院
海辺の杜
高知ハーモニー
同仁病院
土佐病院
藤戸病院
みどり作業所
南国病院
計8施設(11チーム)

精神科デイケア室主任 精神保健福祉士 竹村 哲也

ソフトバレーボールを通して、お互いに交流を深め、体を動かすことでリフレッシュする『ほっとソフトバレーボール大会』も今年で21回目を迎えました。昨年、優勝したことで今年はシード枠での参加となり女性1名含む11名が選手として出ました。選手にとってこの大会への意気込みは強く、年間通したイベントの中で重要な1つです。1試合目の藤戸病院では動きは硬

く、連携プレーもぎこちなかったが個々の能力が高い当院メンバーが力を発揮し勝利しました。2試合目は優勝候補のみどり作業所ともあって勝てば奇跡といった気持ちで挑み、意気込みとしては気軽な雰囲気でした。結果、敗れはしたが圧倒的大差ではなく、攻める場面も多くあり満足のいく試合内容でした。選手の頑張りには応援に来てくれたメンバーの後押しも大きく影響し、3位に入賞しました。

メンバー・Sさんより

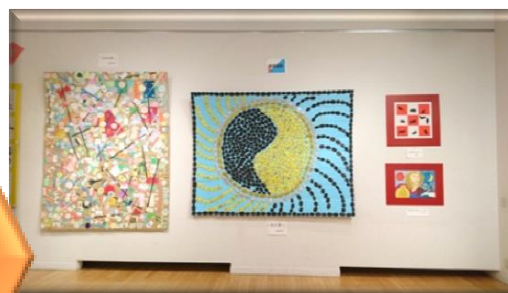
練習不足だった。

週2日は練習したい。いいところまで
いけたが残念だった。

次回はもっといい順位をねらいたい。

**第7回
DAY展**

高知県精神科デイケア連絡会
高知市文化プラザ
かるぽーと
H29.3.7~8
(火~水)



共同作品 グランプリ受賞
「光と影」
個人作品 佳作入選

精神科デイケア室 看護師 宮崎 智夫

今年も高知県精神科デイケア連絡会主催の第7回デイ展が、3月7日(火)、8日(水)の2日間開催されました。今年は10施設が参加し数多くの作品が出展され、南国病院デイケアは共同作品と個人作品それぞれ2点を展出し、共同作品は『自由主義』と『光と影』というタイトルで出展しました。『光と影』の作品に関しては、段ボールを貼り合わせ2m近い土台を作り、段ボールを小判型に切り抜き金・銀の色紙を貼りつけたものや黒色のペイントしたものを、それぞれ小判に両面テープやボンドをつけたり貼ったりと役割分担し、土台に勾玉様に貼りつけました。協力して作成した作品は見事グランプリを受賞し、個人で出展した2点も佳作に入選しました。来年度デイ展が開催されるかどうかは未定ですが、デイ展が続く限り作品出展も続けていけたらと思います。

メンバー・Tさんより

デイ展へ出品するにあたっては一人一人の思いがりましたが、皆の知恵が一つとなり作品を作り上げる事ができました。そのかいあってグランプリを取る事ができました。本当に嬉しかったです。他の出展作品もありましたが、皆で作った作品が一番です。これからも作品作りに努力したいと思います。